

政策評価調書(25年度実績)

政策名 恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進～	政策コード I-5	関係部局名 生活環境部、商工労働部、農林水産部、土木建築部
---	--------------	----------------------------------

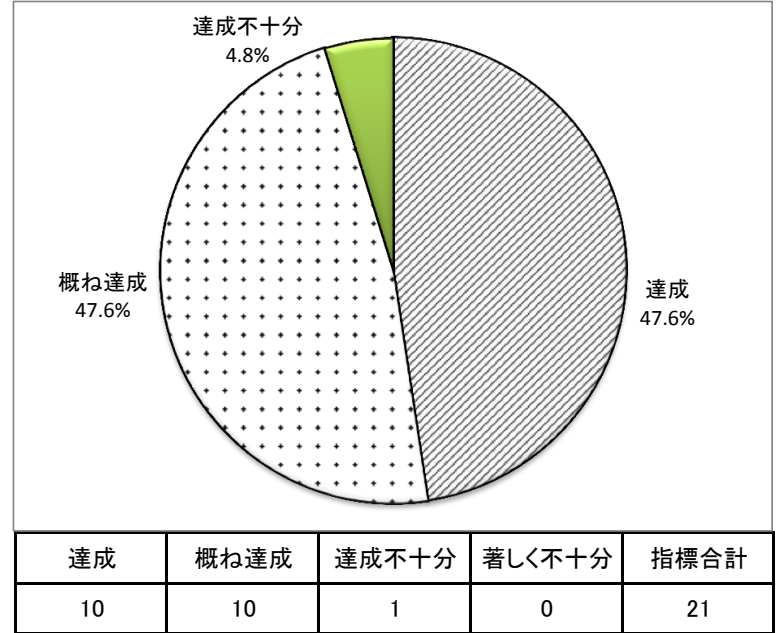
【Ⅰ. 政策の概要】

大分の恵み豊かな自然環境を守り、美しく快適な県土づくりにつながる環境保全の取り組みやリサイクル等の資源循環の取り組み、二酸化炭素の吸収源対策、環境教育の推進、県民総参加による「ごみゼロおおいた作戦」を進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	豊かな自然との共生と快適な地球環境の創造	達成	A
2	循環を基調とする地域社会の構築	達成	A
3	地球環境問題への取り組みの推進	達成	A
4	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県は、緑豊かな山野、大地を潤す清らかな河川、変化に富んだ海岸線、学術的価値の高い貴重な農業遺産や地質遺産など全国に誇れる豊かな天然自然に恵まれている。これらの豊かな自然と共生し将来へ継承していくことが必要である。

平成25年5月には、「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」が世界農業遺産(GIAHS)に認定され、地域の活性化とともに、この地域資源の保存・伝承が必要となっている。

また、日本ジオパークの認定を受け、県内の学術的価値の高い貴重な地形・地質の魅力発信や教育学習を通じて地域の活性化に繋げていくことが重要である。

豊かな自然環境を保全しつつ、快適な生活環境を実現するためには、県民理解を広げ、環境に負荷の少ない持続可能な社会づくりに努めることが重要である。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—